

保護者 様

一宮市立大和南小学校
校長 中西 美紀

アンケート「よりよい大和南小学校をめざして」の結果について

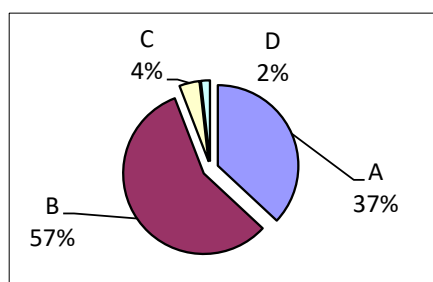
厳寒の候 保護者の皆様方には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、過日実施させていただきましたアンケート「よりよい大和南小学校をめざして」にご協力いただき、誠にありがとうございました。その結果を下記のようにご報告させていただきます。今後とも学校運営について、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

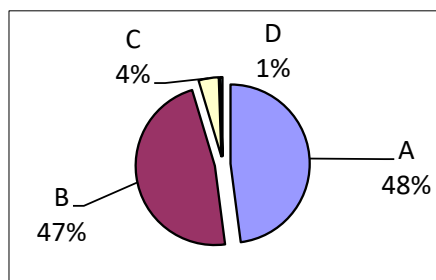
記

アンケート回答数 194 A思う Bどちらかといえば思う Cどちらかといえば思わない D思わない

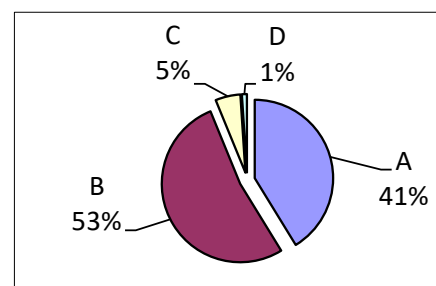
- 1 学校は、家庭や地域の意見や願いを生かした教育活動を進めている。



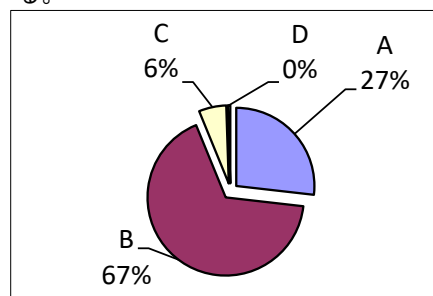
- 2 学校は、授業公開、各種便り、ウェブページ等で、家庭や地域にわかりやすく情報発信をしている。



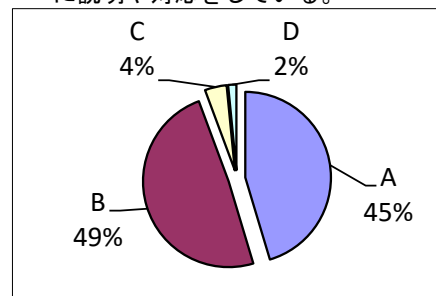
- 3 学校は、子どもの安全対策(施設・環境整備、防災・生活安全など)に努力している。



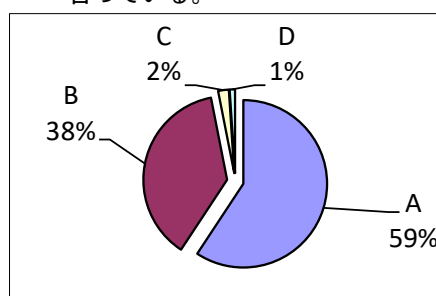
- 4 学校は、いじめ防止に取り組んでいる。



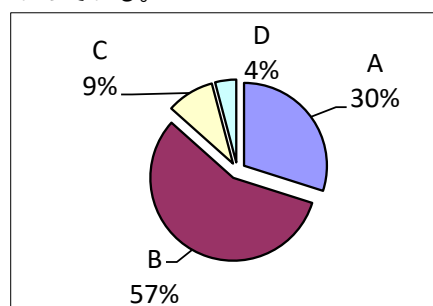
- 5 学校は、保護者に対していねいに説明や対応をしている。



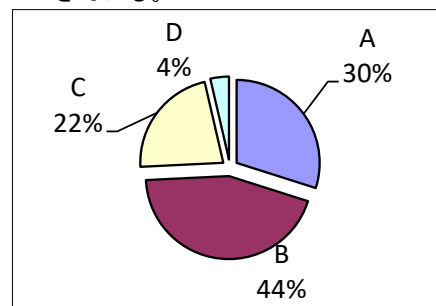
- 6 お子さんは、学校が楽しいと言っている。



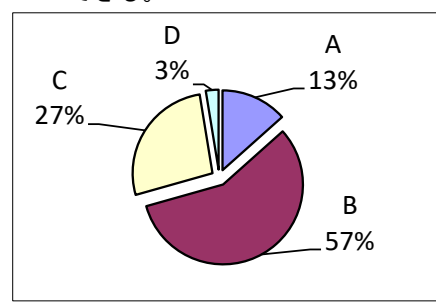
- 7 お子さんは、授業がよくわかると言っている。



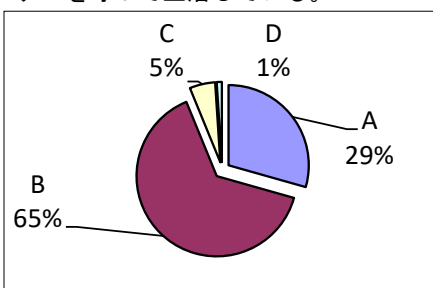
- 8 お子さんは、進んであいさつができています。



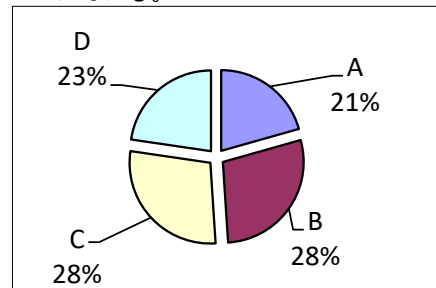
- 9 お子さんは、正しい言葉づかいができる。



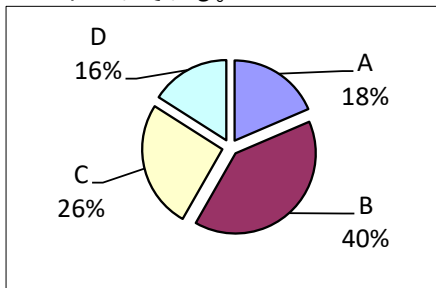
- 10 お子さんは、社会生活のルールやマナーを守って生活している。



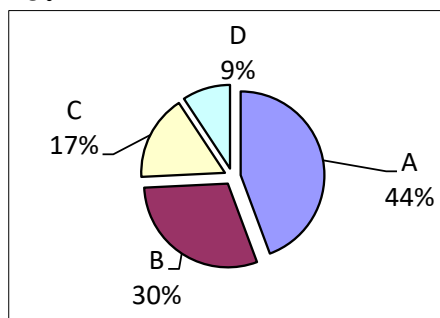
- 11 お子さんは、読書の習慣が身についている。



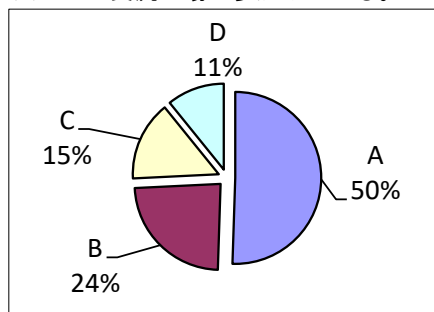
- 12 お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。



13 お子さんは、進んで外遊びをしている。



14 お子さんは、子ども会活動など地域の人々との交流の場に参加している。



アンケートの結果と次年度に向けて

A:思う B:どちらかといえば思う C:どちらかといえば思わない D:思わない

1 学校の取り組みについて

- 「家庭や地域の意見や願いを生かした教育活動(項目1)」では、94%(昨年度比-2)の方に、AもしくはBの評価をいただきました。今後も、児童一人一人にしっかりと向き合い、寄り添いながら、教育活動を実践していきます。そして、保護者や地域の方の理解と信頼を得られるよう教育活動の改善に一層努力していきます。
- 「情報発信(項目2)」では95%(昨年度比-1)という評価をいただきました。「環境整備、安全対策(項目3)」では、94%(昨年度比-1)という評価をいただきました。今後も一層、児童の安心・安全を第一に考え、社会情勢の変化に合わせた適時適切な情報発信や安全対策に全職員で努めてまいります。
- 「いじめ防止の取り組み(項目4)」では、94%(昨年度比+1)、「説明や対応(項目5)」では、94%(昨年比+3)の評価をいただきました。今後も生活アンケートや教育相談、「一日観察日」の設定等を通して、いじめや不登校等の未然防止や早期発見に取り組み、職員間で情報共有を徹底し、連携しながら早期対応に努めてまいります。また、「発見! かつこいいカード」や道德の授業の充実、「わくわくペア」での遊びや縦割り清掃等の異学年交流を通じた活動など、今後も引き続き豊かな心の育成に取り組んでまいります。学校では、スクールカウンセラーとも連携し、児童や保護者の相談の場も充実していますので、お困りのことがありましたら、まずは学校へお問い合わせください。

2 児童の学習や生活について

- 「学校が楽しい(項目6)」では97%(昨年度比+7)の評価をいただきました。また、「授業がよくわかる(項目7)」では87%(昨年度比+5)となりました。今年度も、ペアやグループで学ぶことを意識して授業づくりを進めてきました。継続の成果として「よくわかる」と児童自身が回答する割合が増加しています。その結果、学校に楽しく通う児童も増えていと感じています。今後も、授業法研究や個別の指導を進めながら、よりよくわかる授業づくりを進めていく必要性を強く感じています。そして、児童が、「授業がわかる」「授業が楽しい」と感じていく中で、より楽しく学校生活を送ることができるよう努力してまいります。
- 「あいさつ(項目8)」では74%(昨年比+2)、「正しい言葉づかい(項目9)」では70%(昨年度比+4)、「社会生活のルールやマナー(項目10)」では94%(昨年度比+3)の評価となっています。あいさつや言葉づかいに関する評価が少しずつ上昇してきました。家庭や地域での声掛けのおかげだと感じています。今後も学校でも指導していくとともに、学校・家庭・地域がともに手を携え、大人が良き手本となって粘り強く指導を続けていくことが必要です。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。
- 「読書の習慣(項目11)」では49%(昨年度比+10)の評価となりました。「家庭学習の習慣(項目12)」では58%(昨年度比+6)となりました。これまで学校では、全校あがての読書活動やお薦め図書の紹介など、学校図書館司書を活用して読書への興味や関心を高める取り組みをしています。また、家庭学習に関しては、土日の宿題をなくしたことで、学力の低下を危惧される声も聞こえます。今後は、すべての児童に与えられた均一の課題に取り組むだけでなく、自分の力にあわせて課題を選択する力も求められています。また、新たに生み出された時間で、興味をもったことについて調べてまとめたり、音楽を楽しんだり、作品をつくったり、実習や実験を行ったりすることができる児童の育成を目指していききたいと思います。今後も、家庭のご理解とご協力を得ながら、根気強く取り組みたいと考えています。